



令和4年4月16日発行  
熊本県立湧心館高等学校

## 今月のテーマ「熊本地震を振り返る」

令和4年3月16日23時36分に福島沖で最大震度6強の地震が発生しました。私自身、夜間で震度6強の地震ということで、6年前の熊本地震が蘇るようでした。

熊本地震では、私は湧心館高校定時制に赴任してすぐの時期でした。生徒にとっても、始業式・入学式を終え、ようやく授業が始まりだし、定時制の一日が終了したと思った矢先の出来事でした。発災当初は、立ってられないほどの揺れで、体育館や校舎からも不気味な揺れの音と、下校時でもあったので、校舎内外から生徒の悲鳴にも似たような声が、重ねて聞こえてきた記憶があります。

私自身は、発災時、校舎外にいたのでとっさに身を伏せ、地震が落ち着いた後、灯りが確保を確認し、担任クラスでまだ残っていた生徒の安否確認と、近隣住民の避難の対応に他の職員と追われました。しかし、一気に非日常と化し、引き渡し手配での各家庭の音信不通、周辺主要道路や公共交通機関の混乱と、下校確認と引き渡しを終えたのは、深夜1時過ぎまでかかっていたことを今でも忘れません。

本震後の湧心館高校では、地域の自治協議会との繋がりが小中学校に比べ少なかったこと、一時避難所のため、近隣小学校の避難所より物資や管轄職員の対応が遅れたことなど、支援物資の分配等で避難所開設から数日間は混乱を招いたこともありました。現在、そのような経験から、熊本県下の各学校では、県の防災対策及び発災時の対応において、学校や地域の協力による防災体制へと代わり、いかされつつあります。

湧心館高校においても、熊本地震の経験をいかし、啓発活動として「ぼうさい通信」を毎月発刊しています。皆さん、防災や発災時の対応は確実にできていますか。まだ自信がないという人は、以下に記載がありますので、過去の「ぼうさい通信」も確認しながら自分自身の防災意識を高め、今後にいかしていただければと思います。

### ■熊本地震の概要

2016年(平成28年)4月14日21時26分以降に熊本県と大分県で相次いで発生した地震を指します。気象庁震度階級では最も大きい震度7を観測する地震が4月14日夜、4月16日未明に発生したほか、最大震度6強の地震が2回、6弱の地震が3回発生しています。日本国内の震度7の観測事例は、4例目(九州地方では初)および5例目に当たり、一連の地震活動において、現在の気象庁震度階級が制定されてから初めて震度7が2回観測されました。また、熊本県益城町で観測された揺れの大きさは計測震度6.7で、東北地方太平洋沖地震の時に宮城県栗原市で観測された揺れ(計測震度6.6)を上回り、国内観測史上最大となりました。さらに、一連の地震回数(M3.5以上)は内陸型地震では1995年以降で最多となっています。

### ■前震(現在は、前震・本震・余震の定義をなくし、すべての揺れを“地震”の表現へ変更)

①4月14日21時26分、一連の地震で最初の地震が発生し益城町で震度7(計測震度6.6)を観測しています。熊本県の嘉島町では、地震直後に震度情報が未入電となり、震度5弱以上と推定されていました。中部地方の一部から九州地方にかけての範囲で震度1から震度4を観測しました。

② 4月15日0時3分に熊本県熊本地方を震央とする最大震度6強の地震が発生しています。気象庁が発表したこの地震の震央は、最初の地震の震央より南西に約5.5kmずれています。

※この一連の地震は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ、この地方で一般的な「右横ずれ断層」型であり、北北東-南南西方向に伸びる震源断層を持つと推定されています。政府の地震調査委員会は、日奈久断層帯（約81km）の北端部に当たる高野-白旗区間（約16km）の活動によるものとの見解を発表し、地震前、同区間で将来M6.8程度の地震が発生すると推定し、発生確率は不明としています。

### ■ 4月16日地震（本震・・・前震同様、現在、すべての揺れを“地震”の表現へ変更）

1時25分に最大震度7の地震が発生し、気象庁発表の地震の震央は、4月14日に発生した地震より西北西に約4.5kmずれています。この地震の最大震度は当初、震度6強とされていましたが、気象庁に送信されていなかった熊本県益城町と熊本県西原村の震度計のデータを同庁の現地調査で解析した結果、震度7を観測していたことが判明し、4月20日に訂正されました。4月14日21時以降、2018年（平成30年）4月13日までに一連の地震で震度1以上の観測地震（有感地震）は4,481回発生しており、うち最大震度4以上は145回発生しています。最初の地震から1年間の有感地震は4,297回で、内陸または沿岸で発生した地殻内地震としては、震度計による観測が始まった1996年4月以降で最多となっています。なお、気象庁は、複数の地震を一つの地震としてカウントしていた地震について精査を行い10月11日に発表した。精査の結果、最大震度1以上の地震回数が確定し、最大震度5強の地震が1回（15日0時6分）、5弱の地震が3回（14日23時43分、16日3時9分、16日9時50分）に増えるなど、修正が加えられました。



地震後の宇土市役所



地震後の熊本城



地震によりずれた断層

### ■ 被害・影響

死傷者等		地域別死者(直接死)	
死者(合計)	人数	地域	人数
死者(合計)	273人	益城町	20
直接死	50人	南阿蘇村	16
関連死	218人	西原村	5
豪雨被害関連死*1	0.9人	熊本市	4
行方不明者	00人	嘉島町	3
負傷者	2,809人	御船町	1
避難者数	183,936人*2	八代市	1
被害総額	最大9.2兆円*3	合計	50
2019年4月12日現在		2016年8月15日現在	

\*1 6月19日から6月25日の豪雨被害で熊本地震との関連が認められた死者

\*2 熊本県の最大時、4月17日9時

\*3 #推計被害額

過去のぼうさい通信を見ることができます ◎ぼうさい通信(毎月16日発行)

本校HPにアクセスしてみよう。 <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>

くまもとマイタイムライン(デジタル版マイタイムライン)は、

<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/>で作成可能です。